



見つけよう 調べよう えんがるの宝もの

かんさつ じっけん
観察・実験ノート

えんがるの宝を守り、未来につなげるプロジェクト実行委員会

※表紙のちぎり絵は遠軽の子どもたちの作品です。

えんがるの宝もの地図



■ えんがるには宝ものがいっぱい！

私たちがくらす遠軽町には、ふるさとを自慢できる宝ものがいっぱいあります。でも、みなさんは、どこにどんな宝ものがあって、それがどうやって残されたのか知っていますか？

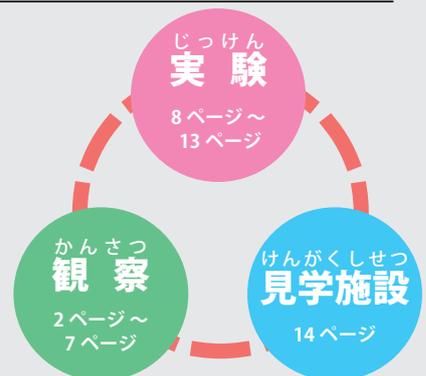
このノートは、私たちがくらす遠軽町の大地の成り立ちやそこにくらす生き物、そして先人の歴史を伝えてくれる宝ものを紹介しています。また、宝ものをより詳しく知るために観察する時のヒントや、実験をして確かめてみる方法なども記しています。

このノートを使って、実際に宝ものがある場所まで行って、見て、調べて学びを深めてみましょう。

■ ノートの使い方

このノートでは、遠軽町の代表的な宝もの観察の仕方と、より詳しく調べるための実験の方法、わからないことを調べたり、専門の学芸員がいる見学施設を紹介しています。

まずは、興味のあるページから始めてみて、そのページの学習が終了したら、ページ下にある **関連ページ** も合わせて見てみましょう。



① インカルシ (瞰望岩) ～水中での噴火の記録を調べよう！

遠軽町のシンボルであるインカルシ (瞰望岩)。実は、火山の噴火でできた岩です。それも、水の中で起こった噴火でした。その痕跡を、岩の中身 (断面) から調べてみましょう。



持ち物

ルーペ、定規 (メジャー)、観察ノート、筆記用具、カメラ (あれば)

観察する場所



知っておこう！

- ・インカルシを作った噴火が起こったのは、約 700 万年前！
- ・インカルシは、アイヌ語で「ながめる・いつもする・ところ」という意味です。
- ・インカルシは、国の名勝「ピリカノカ (「美しい・かたち」という意味)」の 1 つです！



上の地図の★印の場所で、階段の途中にある大きな岩をルーペで見よう。下の写真のような岩の中身を見つけたら、中に含まれているカケラの色や形、大きさなどを記録しよう。



① カケラの色や形、大きさ、手ざわり

② その他、気づいたこと

※中に含まれる黒色のカケラは、水中で噴火が起こり、バラバラになったマグマ冷えて固まったものです！
また、水中噴火の様子を実験で再現することができます！ 8 ページを見よう！



インカルシの頂上には縄文時代から人々がくらししていた証拠が見つかっています。インカルシは昔からどんな役目を果たしていたのでしょうか？ 自分の考えを書いてみよう。

ポイント！

国の名勝って何だろう？

日本の歴史を伝えてくれるとても貴重な物 (文化財) のことで、名勝のほかに国宝、重要文化財、史跡、天然記念物などの種類があります。インカルシは名勝の 1 つに指定されている大切な宝物です。みんなで守り、未来に伝えていきましょう。文化庁のホームページで文化財について調べてみましょう！



文化庁

② 遠軽橋～大地の成り立ちとまちの歴史を調べよう！

遠軽橋の下には、遠軽の土台をつくる岩石の地層があります（下の写真）。川原において調べてみましょう。
 ※川原を見学する時は、必ず大人の人と一緒に行動しましょう。雨天時や増水時の見学はやめましょう。

観
察



持ち物

ルーペ、定規（メジャー）、観察ノート、
 筆記用具、カメラ（あれば）

観察する場所



遠軽橋の下で観察できる遠軽の土台をつくる地層の岩石は、下の写真のどちらか調べてみよう！
 また、遠軽町はもともと、どんな場所だっただろう？ 岩石のき方から考えてみよう。



火山の噴火でできた
 岩石（安山岩）



海や湖の底で堆積して
 できた岩石（砂岩）

① 色や粒の大きさから見て、岩石はどちらだろう？

.....

.....

② もともと、どんな場所だったと考えられるだろう？

.....

.....



岩にできた丸いくぼみを見つけてみよう！

遠軽橋下の岩石を観察すると、円形のくぼみを見つけることができます（右写真の矢印）。これは「ポットホール」と呼ばれるもので、岩のくぼみに小石などが入り込み、水の流れることによって岩のくぼみがひろがっていったものです。ポットホールを実験で再現することができます！ 9ページを見てみよう！



ポイント！

遠軽町郷土館で町の歴史を調べてみよう！

遠軽町郷土館には、大昔（先史時代）の道具や明治以降の開拓に関わる歴史資料が展示されています。遠軽の歴史を郷土館で調べてみると、遠軽町は洪水の多い町だったことがわかります。このような洪水災害を起りにくくするために、どんな工夫がされてきたか調べてみましょう。



▲大正 11 年の洪水災害の様子

かさいりゅうとう
③ 西町の火砕流露頭～太陽の丘えんがる公園の成り立ちを調べよう！

遠軽小学校の近くには、太陽の丘えんがる公園の土台をつくる大きな地層ちそうがあります（下の写真）。この地層がどうやってできたか、土を採取してルーペを使って見てみましょう。



もちもの
持ち物

ルーペ、園芸用のコテ、水、バケツ、水切りネット、新聞紙、定規（メジャー）、観察ノート、筆記用具、カメラ（あれば）

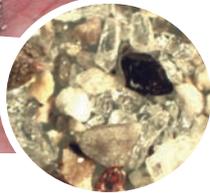
かんさつばしよ
観察する場所



観
察



土台の成り立ちを調べるヒントとなる下の3つをルーペを使って見つけよう！
バケツと水切りネットで土を洗うと、きれいに観察かんさつすることができるよ！



- キラキラした粒**：火山ガラスと呼ばれるもので、火山の噴火によってできる地層に含まれます。
- 穴ぼこだらけで水に浮く粒**：軽石です。これも火山の噴火でできます。
- 黒や灰色の粒**：もともと遠軽の地面をつくっていた岩石のケラで、噴火のときに一緒に巻き込まれてしまったものです。
- に✓しよう



地層の観察から、太陽の丘えんがる公園の土台は、火山の噴火によってつくられていることがわかります。このような場所を現在の私たちはどのように利用しているか、キーワードを使って考えてみよう。

キーワード：平らな地形、花、観光



ポイント！

とってもこわい火砕流って何のこと？

西町の露頭のように、火山灰や軽石が含まれる地層は、噴煙をあげるような爆発的な火山の噴火によってできます。さらに、様々な大きさの粒が見られる場合、火砕流と呼ばれる現象でできたと考えられます。火砕流は火山灰や軽石、高温の火山ガスなどが高速で地上を流れる現象で、火山噴火の中でとても恐ろしい現象です。火砕流が生み出す地形は平らな地形になることも特徴です。気象庁のホームページで火山災害について調べてみましょう！

④ さがえいせき 寒河江遺跡～川がつくる地形と遺跡の関係を調べよう！

遠軽町では、大昔（先史時代）の人のくらしの跡（遺跡）が、川の流れがつくった小高い丘の上で見つかります（下の写真）。どうしてこのような場所に遺跡が残されているのか調べてみましょう。



持ち物

遠軽町防災ガイドマップ、シール、観察ノート、筆記用具、カメラ(あれば)

観察する場所



町で配布している「遠軽町防災ガイドマップ」に、寒河江遺跡の場所にシールで印をつけてみよう。昔の人はどうして小高い場所でくらしていたのか、町で起こりやすい自然災害から考えてみましょう。

※自然災害とは、地震や噴火、台風や大雨などの自然現象によって私たちのくらしに被害がでることを言います

.....

.....

.....



遺跡から出土した道具から大昔のくらしを調べてみよう！

遠軽町郷土館や埋蔵文化財センターでは、町内の遺跡から出土した大昔の道具（石器や土器）を展示しています。下の写真の道具を使って、昔の人たちが何をしていたか調べてみましょう。



寒河江遺跡から出土した土器

【わからない時は学芸員さんに質問してみよう】

.....

.....

.....

ポイント！

埋蔵文化財って何だろう？

埋蔵文化財とは、地面の下に埋まっている昔の人々が使っていた道具（石器や土器など）や、生活をしてきた痕跡（家の跡など）のことで、写真や文字として記録が残っていない時代の出来事を知る大事な手がかりです。一度失うと二度と元に戻すことができないため、発掘調査をして記録を残したり、出土した資料を保管していく必要があります。

⑤ 森林公園いこいの森～武利川にすむ生き物を調べよう！

まるせつぷ 丸瀬布森林公園いこいの森では、むりがわりゅういき 武利川流域のさまざまな生き物たちを見つけることができます。また、ちよう 町の蝶 オオイチモンジをはじめ、遠軽にすむ生き物たちが展示されているまるせつぷこんちゅうせいだいかん おとす 丸瀬布昆虫生態館を訪れてみましょう。



もの 持ち物

あみ 虫取り網、ルーペ、かんさつ 観察ノート、ひっきょうぐ 筆記用具、カメラ（あれば）

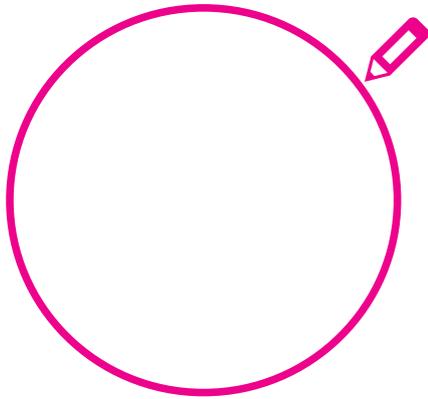
かんさつ ばしょ 観察する場所



観
察

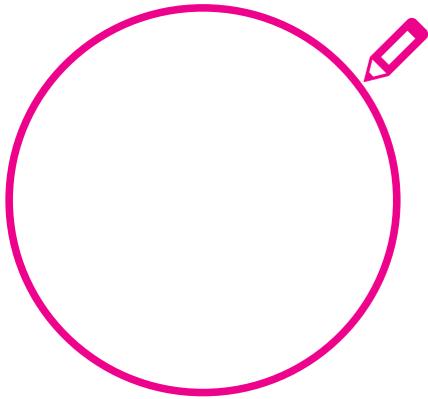


丸瀬布昆虫生態館には、遠軽町内^{さいしゅう}で採集された昆虫標本^{こんちゅうひょうほん}のほか、生きた昆虫^{かんとつ}を観察^{せいたいてんじしつ}できる生態展示室^{せいたいてんじしつ}があります。生態館やいこいの森で見つけた生き物をスケッチしたり、写真を撮って記録^{きらく}しましょう。記録したら、その生き物のなまえやすんでいる場所^{ところ}を調べてみましょう。



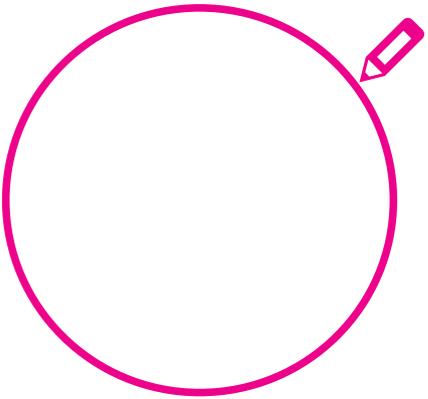
【生き物のなまえ】

.....
【すんでいる場所(生息地)】



【生き物のなまえ】

.....
【すんでいる場所(生息地)】



【生き物のなまえ】

.....
【すんでいる場所(生息地)】

ポイント！

知っておこう！^{がいらいしゆ}外来種

もともといなかった国や地域^{ちいき}に、人の活動^{かつどう}によって持ち込まれた生き物のことを外来種^{もとこ}といいます。もともと北海道にいなかったカブトムシは外来種になります。地域の自然だけでなく、私たちの暮らしにも問題を起す外来種について正しく知っておきましょう。^{かんきょうしょう}環境省のホームページ「外国からやってきた生き物たち」で外来種について調べてみましょう。📖

⑥ 白滝遺跡群～黒曜石を使った旧石器時代のくらしを調べよう！

白滝地域では黒曜石を生み出した溶岩を間近で見ることができます。実際に溶岩に近づいて、黒曜石のでき方を調べてみましょう。また、黒曜石を使った3万年前の旧石器時代の人々のくらしを調べてみましょう。

※国有林内のため事前の許可が必要です。また、黒曜石の採取は禁止されています。お問合せは役場ジオパーク推進課（☎0158-48-2020）まで

観察



白滝地域にある黒曜石露頭の1つ、八号沢露頭

持ち物

ルーペ、定規（メジャー）、観察ノート、筆記用具、カメラ（あれば）

観察する場所

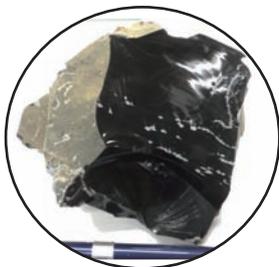


知っておこう！

- ・黒曜石をつくった溶岩の噴火が起こった年代は、約220万年前！
- ・白滝遺跡群は、国の史跡で、出土品の一部は重要文化財（2p参照）に指定されています！
- ・白滝遺跡群は、今から約3万年～1万2千年前の旧石器時代の複数の遺跡です



黒曜石溶岩の中身（断面）にあたる八号沢露頭（上の写真）では、溶岩が冷え固まる速さの違いによってガラスからできている黒曜石の部分と、そうではない岩石（流紋岩）の部分を見ることができます。溶岩を間近で観察し、どの部分に黒曜石ができているか調べてみましょう。



ほとんどガラスからできている黒曜石



全体的に白っぽく穴が空いた岩石（流紋岩）

黒曜石の部分は溶岩の

白っぽい岩石は溶岩の

？ どちらの岩石の方が早く固まったか考えてみよう。

※黒曜石と流紋岩は、アメと砂糖の結晶の関係とそっくり！この関係をべっこうアメづくりで確かめよう！12ページを見てみよう



埋蔵文化財センターで、展示されている右の写真の石器を見つけよう！

この石器をつくるために必要な黒曜石の大きさはどのくらいで、どんな所で取ることができるだろう？ また、この石器は何に使われたのか調べてみよう。

① どのくらいの大きさの黒曜石が必要で、どんな所で取ることができるだろう？

② この石器は何に使われたらう？ 学芸員さんの話も聞いてみよう！



白滝遺跡群から出土した大きな石槍

⑦ すいれいはさいじっけん 水冷破碎実験～インカルシをつくったのは水中噴火？

えんがるちょう 遠軽町のシンボルであるインカルシ（がんぼういわ 瞰望岩）のでき方を実験で確かめてみましょう。

※実験の様子を撮影した動画を動画投稿サイト（YouTube）にて公開していますので、参考までにぜひご覧ください。👉



*通信料が発生します

実験に必要な道具

ビー玉、バーナー、耐熱レンガ、ガラスの水槽、火バサミ、水

注意点：バーナーや耐熱レンガはホームセンターなどで購入できます。この実験はバーナーを使いますので、危険がないよう必ず大人の人と一緒に実験をしましょう。

実験の手順



① ガラスの水槽に7割程度の水を入れ、耐熱レンガの上のビー玉をバーナーで加熱します。加熱するとビー玉はどのように変化するかな？

【色や形などビー玉の変化】



② ビー玉が左の写真のように変化したら、火バサミを使って水槽に入れます。水の中に入れたビー玉は、どのようになるかな？

※火バサミを使う時は、大人の人にお願ひしましょう。

【水の中に入れたビー玉の変化】



※水の中でビー玉に起った現象は、「水冷破碎」と呼ばれ、マグマが水中で噴火したときにも起こる現象です。

同じように水の中で噴火してできたインカルシの岩石と見比べて、似ているところや気づいたことを書いてみよう。 2ページを見てみよう👉

【実験をした感想】

水槽の上から見たビー玉



今回の実験は

水槽の水・・・海や湖

ビー玉・・・岩石

熱したビー玉・・・マグマ

に見立てます

関連ページ

① インカルシ 2p 見学施設 14p

⑧ ポットホール実験～遠軽橋下の岩に空いた穴ぼこのナゾ

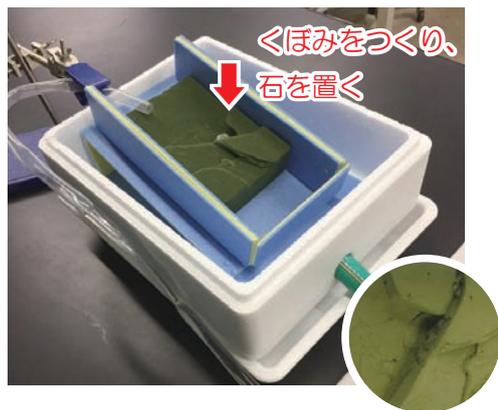
遠軽橋の下で観察できる「ポットホール」(3ページを見てみよう)のでき方を実験で確かめてみましょう。

実験に必要な道具

生花用給水スポンジ(フローラルフォーム)、硬い石(かんらん岩がおすすめ)、発泡容器(コの字形に加工したもの、もしくは発泡ボードを組み立てたもの)、ホース、カッター、ブックスタンドなど台になるもの、筆記用具、観察ノート

注意点: この実験は水の給排水が必要です。家庭の台所や学校の理科室などで実験を行いましょう。

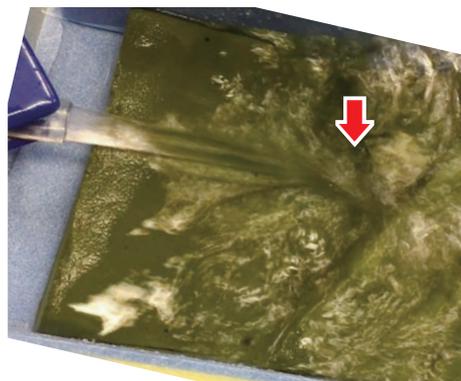
実験の手順



① 生花用給水スポンジ(左写真の緑色のもの)にカッターなどで凹凸をつけ、川底のくぼみやゴツゴツした地形を再現します。

② コの字形の発泡容器(左写真の青色の容器)に①を設置します。

③ 水道の蛇口にホースをつけ、スポンジのくぼみに硬い石をおき、台座などで蛇口側が高くなるよう発泡容器を設置したら準備完了です。



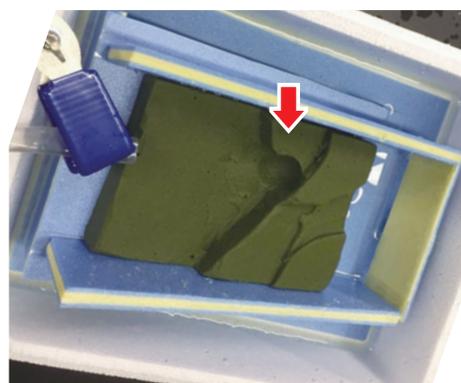
水を流したら、くぼみの石がどうなるか予想してみましょう。

【実験の予想】

.....

.....

.....



実験の結果、スポンジにどんな変化が起こったろう? また、色々な石を使って実験してみよう。

※遠軽橋下のポットホールも実際に見てみよう。3ページを見てみよう

【実験の結果】

.....

.....

【実験をした感想】

.....

.....



今回の実験は
スポンジ・・・軟らかい石
硬い石・・・硬い石
水道の水・・・川の流れ
に見立てます

⑨ 流水実験～川の流れにはどんな働きがあるか調べよう

遠軽町を流れる湧別川ゆうべつがわが作り出す地形を調べるため、流れる水の働きを実験で確かめてみましょう。

実験に必要な道具

ホース、スコップ、軽石（もしくは熱帯魚観賞用の色付きの砂）、旗を付けた竹串、町の地形図、筆記用具、観察ノート

注意点: この実験は、水道が整備せいびされている砂場で行いましょう。学校や公園の砂場で行う場合は、事前に許可を取りましょう。

実験の手順



- ① 観察しやすくするため、砂場を平坦へいたんにならして土台をつくります。
- ② 土台の片方に山をつくり、反対側が低くなるよう斜面しゃめんをつくります。
- ③ 実験の前に十分に砂に水を含ませふくておきます。
- ④ 水を流す場所の両端りょうはし（左写真の白線上）に旗を立てておきます。
- ⑤ 山側（斜面の高い方）にホースを設置したら準備完了です。



ホースから水を流し川をつくります。時々、軽石を水の流れに浮かべて観察してみましょう。土台の砂と比べて軽石はどう流れるだろう？

また、軽石は最終的にどんな場所にあるだろう？

- ① 水に浮かべた軽石は土台の砂と比べてどうなるだろう？

- ② 最終的に軽石はどんな場所にあるだろう？



④で立てた旗はどうなっているだろう？ 旗に変化があった場所とない場所で、水の流れにどのような違いがあったか考えてみましょう。

- ③ 旗に変化があった場所の水の流れはどうなっているだろう？

- ④ 旗に変化があった場所の土台はどんな形になっているだろう？

? 町の地形図で湧別川の流れをしてみよう。また防災ガイドマップを使って、町の遺跡いせきの場所と川の流れとの関係を考えてみよう。 5 ページも見てみよう



今回の実験は
砂 場・・・町の地面
山と斜面・・・上流と下流
水・・・川の流れ
に見立てます

⑩ コーラの噴火実験～爆発的な噴火を安全に観察しよう

コーラをマグマに見立てて、火山が煙を上げて噴火する様子を実験で再現してみましょう。

実験に必要な道具

コーラ、ソフトキャンディー（メントスがおすすめ）、キリかマイナスドライバー、穴をあけたペットボトルのキャップ、糸かテグス、筆記用具、観察ノート

注意点：コーラが勢いよく噴き上がるので、屋外で実験を行いましょう。

実験の手順



① あらかじめ用意した別のペットボトルのキャップに、キリなどを使って直径5 mm～10 mmの穴を開けます。

② メントスに1～2mmほどの穴を開け、糸を通し玉結びで固定します。①の穴を開けたキャップに糸の片方を通しておきます（左写真）。

③ 屋外へ移動し、糸を引っ張りメントスが落ちないように持ったまま②のキャップをコーラが入ったペットボトルに付け替えたら準備完了です。



どのくらいの高さまでコーラが噴き上がるか予想してから、③の糸を離しメントスをコーラの中に落として実験しましょう。

※糸を離したら自分にコーラがかからないようすばやく離れましょう。

【実験の予想】



煙を上げる噴火のほかに、どんな噴火があるか調べてみましょう。また、黒曜石をつくった噴火にはどんな特徴があるだろう？ 学芸員さんに質問してみましょう。14ページの施設見学に行こう

① ○○式や○○噴火など、ほかの噴火

② マグマの粘りけや流れる速さなど、黒曜石をつくった噴火の特徴

【実験をした感想】



今回の実験は
コーラ・・・マグマ
メントス・・・マグマの中の
ガスを一気に泡立たせるもの
に見立てます

⑪べっこうアメづくり～ガラスとアメはそっくりさん!?

ほとんどガラスからできている黒曜石。実はガラスとそっくりなアメをつかって黒曜石のでき方をおいしく学ぼう。

実験に必要な道具

砂糖（上白糖）、アルミカップ、ホットプレート、水、スプーン、箸、黒曜石のカケラ、ルーペ、筆記用具、観察ノート

注意点：べっこうアメづくりは家庭用コンロとお鍋を使ってもできますが、危険が少ないホットプレートを使用した実験を紹介しします。また、ホットプレートなどで加熱中の砂糖は高温になります。やけどしないよう十分注意して実験しましょう。

実験の手順



① アルミカップに砂糖大さじ2杯、水小さじ1杯を入れます（2ccが目安です）。

※左の写真では目盛りつき化粧品用注射器を使用しています。

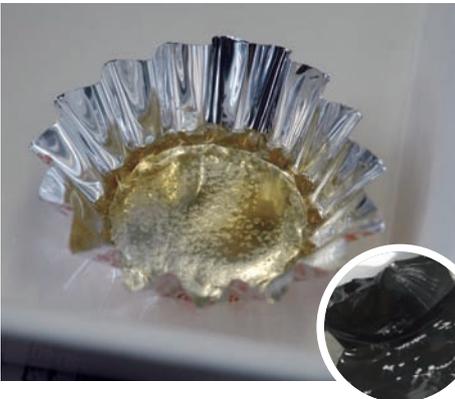
② 砂糖水をかき混ぜないよう、100℃に設定したホットプレートの上にアルミカップを乗せ加熱します。



ぐつぐつと沸騰すると砂糖水はどう変化していこう？ 色や見た目など沸騰する前と後で、砂糖水の変化の様子を記録しよう。

① 沸騰する前の砂糖水（色・見た目・その他気づいたこと）

② 沸騰した後の砂糖水（色・見た目・その他気づいたこと）



左の写真の色になったら箸でアルミカップを取り出し、冷まして固まったら完成です。おいしく食べる前にアメをスプーンで割り、ルーペを使って黒曜石のカケラ（割れた面）と見比べてみましょう。

③ 黒曜石のカケラとそっくりな特徴を見つけたら書いてみよう！

? アメの中に白い粒がたくさんできる場合があります。これは砂糖の結晶です。砂糖以外に、身近な結晶にはどんなものがあるか調べてみましょう！

今回の実験は
砂糖水・・・マグマ
アメ・・・ガラス(黒曜石)
砂糖・・・結晶
に見立てます

実験

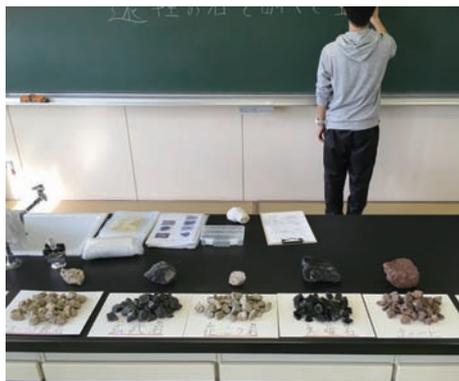
⑫ 岩石図鑑づくり～地域の成り立ちがまるっとわかる

野外で岩石を観察する時に役立つ、石の標本と名前（種類）が書いてある岩石図鑑をつくりましょう。

図鑑づくりの材料

鋭利用ケース（石を貼り付ける厚紙と木工用ボンドでも）、軍手、名前シール、ハンマー、ルーペ、筆記用具、観察ノート
注意点：石の採取には許可が必要な場合があります。また、川原などで採取する場合は、増水時は避けるのはもちろん、大人の人と一緒にいきましょう。

つくり方



① 身近な川原や校庭などで、色の違う石をたくさん見つけます。

② 見つけてきた石をハンマーで親指大に割ります（ハンマーの使用は、周囲に人がいない場所で行いましょう）。

③ ルーペを使って石の中身を観察します。観察するときはハンマーで割ったきれいな面で観察しましょう（割ったカケラの縁はとても鋭いので、手を切らないよう軍手をつけましょう）。



理科の教科書や資料集を使って、④色、⑤手ざわり、⑥岩石をつくる粒の大きさ、⑦キラキラの粒があるかないか、で分けてみましょう。

また、白滝ジオパーク交流センターでは（14 ページ）、それぞれの岩石がどんな場所でできたかを紹介する展示パネル（下の写真）に本物の岩石が貼ってありますので、石を分ける時の参考にしましょう。



石を分けたら、同じ種類ごとにケースに入れ図鑑を完成させます。石の名前が分かる場合はシールに書き、ケースの表に貼りましょう。分からないものは学芸員さんに聞きに行きましょう。

【図鑑づくりの感想】

えんがるちょうきょうどかん
遠軽町郷土館

インカルシ（2ページ）の真下にある施設です。寒河江遺跡（5ページ）から出土した土器が展示されているほか、遠軽町の開拓に関わる歴史資料約4,400点が展示、保管されています。

- 住所 遠軽町西町1丁目2番地
- 時間 9:00～17:00
- 電話番号 0158-42-5942
- 休み 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、国民の休日、年末年始
- 料金 一般150円、高校生以下50円



関連ページ ① インカルシ 2p ② 遠軽橋 3p
④ 寒河江遺跡 5p

昆虫学の
学芸員が
います！

まるせつぷこんちゅうせいたいかん
丸瀬布昆虫生態館

丸瀬布森林公園いこいの森（6ページ）の向かいにある施設です。高山蝶のオオイチモンジをはじめとする標本のほか、生きた昆虫を展示する生態展示を行っています。

- 住所 遠軽町丸瀬布上武利
- 時間 9:00～17:00
- 電話番号 0158-47-3927
- 休み 毎週火曜日、年末年始
- 料金 一般400円、高校生以下150円、幼児無料
30名以上団体割引（2割引）



関連ページ ⑤ 森林公園いこいの森 6p

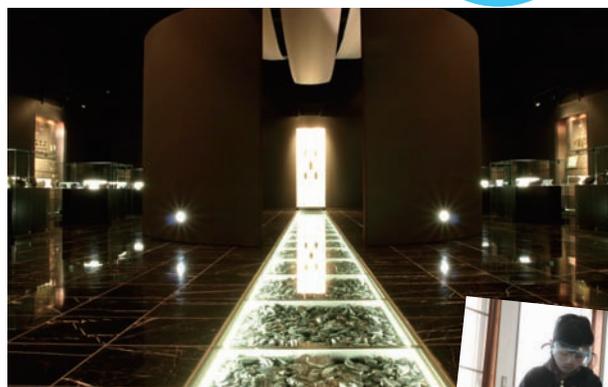
見
学

えんがるちょうまいぞうぶんかざい しらたき こうりゅう
遠軽町埋蔵文化財センター／白滝ジオパーク交流センター

考古学と
火山学の学芸員
がいます！

重要文化財「北海道白滝遺跡群出土品」をはじめ、町内出土の埋蔵文化財を展示、保管しています。黒曜石の成り立ちを紹介するジオパーク交流センターが併設されているほか、石器づくりや土器づくりがいつでも体験できます。

- 住所 遠軽町白滝138番地1（白滝総合支所内）
- 時間 9:00～17:00
- 電話番号 0158-48-2213
- 休み 5月～10月：無休
11月～翌4月：土日祝日、年末年始
- 料金 一般300円、高校生以下150円、幼児無料
10名以上団体割引（2割引）



関連ページ ① インカルシ 2p ② 遠軽橋 3p
③ 西町の火砕流露頭 4p
④ 寒河江遺跡 5p ⑥ 白滝遺跡群 7p



● ^{かんさつ} 観察に出かける前に^{ふくそう} 服装や^も 持ち物を^{かくにん} 確認しよう！

- | | | |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 動きやすい長ズボン | <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> 虫よけスプレー |
| <input type="checkbox"/> ^{うんどうくつ} 運動靴 / ^{ながくつ} 長靴 | <input type="checkbox"/> リュック / ^{たんけん} 探検バック | <input type="checkbox"/> ^{いんりょうすい} 飲料水 |
| <input type="checkbox"/> ^{くんで} 軍手 | <input type="checkbox"/> 雨具 / ^{ぼうかんぐ} 防寒具 | <input type="checkbox"/> ^{ひっきようぐ} 筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> ^{ぼうし} 帽子 | <input type="checkbox"/> シャツや ^{くつした} 靴下の ^{きが} 着替え | <input type="checkbox"/> ^{ぶくろ} ゴミ袋 |
| <input type="checkbox"/> に ✓ しよう | | |

見つけよう 調べよう えんがるの宝もの 観察・実験ノート

発行 平成 30 年 1 月

発行 えんがるの宝を守り、未来につなげるプロジェクト実行委員会

遠軽町埋蔵文化財センター、白滝ジオパーク推進協議会、NPO 法人えんがるジオ倶楽部、NPO 法人丸瀬布昆虫同好会
遠軽町ウチダザリガニ防除ボランティアグループ ジオ・ザリ・クラブ

事務局 遠軽町埋蔵文化財センター 〒099-0111 北海道紋別郡遠軽町白滝 138 番地 1(白滝総合支所内)

☎ 0158-48-2213 ☒ s-kyoui@engaru.jp URL <http://engaru.jp/geo>



平成 29 年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

年 組 な ま え
年 組